



新しいFF 奈良の出発の年

会長 仮家正剛

大西前会長の後を受け内田、佐々木、両副会長をはじめ役員の方々の皆さんの一丸となった協力の下、走ってきた一年でした。2月には19名の参加者を迎えて準会員制度の発会式、3月には例年のように近郊に住む外国人の方たちも交え準会員含めたWFDの催し、さらには例会とこの制度に包含される色々な現実的な問題を洗い出され今後の運営に非常な参考となる課題を残した一年でもありました。しかし6月にはアメリカ・デラウェア大学生の受入れに先立ち事前のオリエンテーションを開催し、これに続く準会員主体のショートステイを実施しFFの活動を体験して貰い大変好評でした。

又今年も受け入れ・渡航とも国際情勢の影響を受けた年でもありました。6月の受入れではトルコ各地からのわずか6名に減じたアンバサダー、この受け入れ時には禅寺での参禅体験や久しぶりの学校訪問を実現、高取国際高校での授業参観、学生との自由討議など新たな体験でした。人数は少なかったのですがそれなりにお互いの理解を深め大変意義ある交換でした。一方渡航の方は予定されたトルコ国内の政情不安で外務省勧告に従い中止、その代わり12月に入り群馬クラブのお誘いで初めての合同渡航実現と新たな体験を持ちました。NZでの語学研修交換にも計5名の参加があり新たな交換のあり方として大変意義のある経験でした。又10月末にはCanada, N.W Carolinaから二組のストップオーバーの受け入れ時、始めて聞くMSG問題なども新たな勉強でした。

来年度は積年の課題、今年新たに発掘されたテーマに向け着実な歩みを続け会員の皆さんが本当に楽しめる活動にしてゆきたく思います。



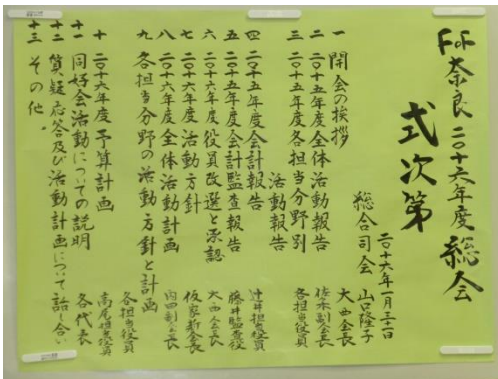
渡航と受入れ

- 6月 トルコ Denizli Club 受入れ
- 8月 ニュージーランド渡航
第2回 Language Exchange
- 10月 ニュージーランド渡航
第3回 Language Exchange
- 10月 Niagara Club stopover
Western North Carolina Club stopover
- 12月 台湾新竹クラブ渡航
台湾高雄クラブ渡航

Annual event

- 1月 総会・新年会
- 3月 第10回 World Friendship Day
- 6月 デラウェア大学生受入れ
- 7月 第5回 FF セミナー
- 10月 中部ブロック会議
- 11月 日本大会・親睦旅行・国内交流

2016年度総会・新年会



1月31日(日)とみの里ふれあいセンターで総会が開催されました。出席者53名、委任状16通、6家族の見学で開会。大西会長の挨拶、前年度の活動、会計報告承認の後2001年4月に設立され今年15周年を迎えた奈良クラブは、会長が大西弘氏から仮家正剛氏にバトンタッチされ、大西氏はFFIの理事に就任されました。新会長の挨拶に続き、新年度の活動方針、予算案、行事予定など報告され、新役員が紹介されました。準会員制度、新入会員メンター設置など新しい企画を加えての総会は滞りなく終わりました。写真は2016年度役員。



総会終了後、恒例のポトラック形式による新年会が開催されました。新年らしいメニューも加わり、豪華で美味しい料理、スイーツが並びました。楽しい会食、歓談の後、メンバーに依るダンス、ゲームなどを楽しみました。各々が用意したプレゼントをビンゴゲームでゲット、その品物、メッセージを披露しほのぼのとしたパーティーとなりました。



新会員(準会員)募集と説明



準会員制度発足以来担当の浦林さんは FF 奈良の会合に初めて来られた方々の緊張をほぐすように笑顔で分かり易く接していました。即日入会された方が 10 名余り。

国際交流に関心のある若い世代に FF 奈良クラブの参加を呼びかけ、準会員募集と説明会を西部公民館で行いました。出席者は大人 21 名とその子供たち、乳幼児から小学生までの若い方々でした。仮家会長の挨拶、フレンドシップフォースの説明、そして FF 奈良の活動を大西さんが紹介しました。午後からは、出席者が 3 グループに分かれ会員の体験話や質疑応答で FF 奈良の活動をより身近に知っていただく機会となりました。



The 10th World Friendship Day

Let's enjoy "Snack & Sweets"



WFD では近隣在住の外国の方や FF に興味のある方を招待して、FF の活動を紹介します。ゲストと一緒に調理、会食し、ゲームや歌などで交流の輪を広げる事を目指します。午前中、西部公民館 6 階調理実習室 (午前 9 時～1 時) でお料理をみんなで作り、楽しい交流をしました。会員 41 名、ゲストは外国人 16 名、日本人 1 名、子供 3 名。午後の交流会は準会員の大人 13 名、子供 16 名が加わりました。



メニュー
オープンサンド
ピザ、麺類
おにぎらず
ぜんざい
スイーツ
タピオカ



受入れホスト

浦林直子
 渡辺妙子
 福田和美
 戸尾之子
 田村裕里香
 宮野千佳子
 和田美紀子
 石田靖子（準会員）
 山下直子（準会員）
 秋友誠一郎（準会員）
 会員外 1



デラウェア大学で日本語を勉強している学生を受入れ、ホストファミリーは準会員の方々を中心にお願しました。学生たちは神社仏閣、野球観戦、藍染め工房訪問、田植え、ハイキング、料理、折り紙、花火、茶道、そして銭湯など多くの珍しい経験をしました。後日ホストから“無事終了してとても楽しい3日間でした”と嬉しい報告がありました。昨年発足した準会員の活躍が早速発揮されたイベントでした。



Mariaさんと再会

Maria & Jenniferさんと共に Luncheon Party



奈良県の公立高校で英語講師、ALTとして滞在していたMariaさんが母国イギリスから2年ぶりにFFのメンバーに会いに来てくれました。Mariaさんに「日本語覚える？」とみんなが口々に尋ねると「ちょっとだけ」という返事でした。話をしているうちに少しずつ思い出してきたようです。楽しいお喋りができて嬉しい再会でした。（9月吉日）

6/15～21

トルコ Denizli Club 受入れ

★スケジュール★

- 6/15 関空到着
- 6/16 菊水、奈良公園
- 6/17 高取国際高校
- 6/18 日本文化体験
- 6/19 Welcome Party
- 6/20 京都観光
- 6/21 岐阜羽島へ



ホスト

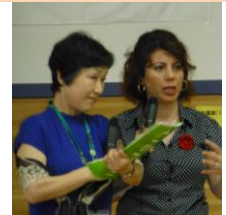
- ED** 木村洋子・久志
- 吉川公子・利文
- 合田さわ子・勝徑
- 吹田栄子
- 吉岡三枝・行雄



トルコ Denizli Club から6名の女性が奈良に滞在しました。新しいクラブでFFとして初めての渡航との事、梅雨時の訪問でしたが、奈良公園散策以外はお天気に恵まれました。高取国際高校訪問、座禅体験など毎日驚きの日々だったようです。多くの奈良会員が各々の行事に参加し、トルコと日本の絆が更に深まった受け入れとなりました。



高取国際高校での歓迎セレモニー



ED の木村さん



京都観光



ホスト初体験の吹田さん



第5回 FF Nara セミナー

7月31日生駒山麓公園ふれあいセンター



今年は出席者 39 名でセミナーが行われました。FF 奈良をより良く知るための絶好の機会です。

プログラム

- 9 : 30～11 : 00 例会
- 11 : 00～12 : 00 講演会
Jennifer さん
- 12 : 00～12 : 50 昼食
- 13 : 00～14 : 30 グループ討議
- 14 : 45～15 : 30 全体会議

講演会

“Hawaii and the Japanese influence on Hawaiian culture”

ハワイの Pidgin という独特の言語は移民集団の言葉が混ざり合って生まれました。もちろん日本の伝統行事や習慣もハワイの文化に大きな影響を与えています。日本からの移民の人たちも多くの苦勞を重ねて現在では政治、教育、医学の分野で重要な役割を果たしています。前アメリカ大統領オバマさんもハワイ出身でありこの Pidgin 語を解する一人だそうです。



Jennifer さんの略歴
ハワイ出身。ALT の経験を経て現在、奈良県下の高校英語講師。



グループ討議では議題として魅力ある受入れ時のプログラム、交換の形態の変化に対する対応、新入会員のサポートと会員を増やす環境づくりに必要な事、地域社会との連携とは何かなどを話し合いました。セミナーの締めくくりとしてグループごとの代表者発表があり、全体会議を終了しました。





ギズボーン市長表敬訪問

私たちは英語の勉強をするだけでなく、その国の文化を学ぶことも目的の一つです。市長からさまざまな歴史を教えていただきました。これも一般的な旅行では得られない貴重な経験だと思います。福田和美

ニュージーランド、語学研修を終えて

成田空港で集合し、初めてメンバーと顔を合わせた時は不安でいっぱいでした。苦手な英語、ホストと上手くコミュニケーションが取れるだろうか？でも、心配無用でした。ホストを始め、ニュージーランドのメンバーの人々は親身にお世話してくださいました。一日中そばにいて、丁寧にゆっくり根気よく話してくださいました。語学研修のもう一つの収穫は、日本の各地のメンバーと知り合えたことです。今後、日本でも素晴らしい domestic exchange が行えることを期待しています。 渡辺妙子



第2回

NZ のケアハウス訪問

写真はケアハウスでホストと一緒に食事をして楽しい時間を過ごした場面です。皆さんはとても生き生きと生活されている様子です。毎日いろんなプログラムがありこの日はディナータイムでおしゃれして食事をされていました。スタッフも素敵なユニホームで明るく働いているのがとても印象的でした。介護の仕事をしている私にとって、ケアのノウハウについて興味があったので、私のつたない英語力で聞けば良かったのにと感じました。 湯浅順子

未来につなぐ一歩

一緒に参加した小学生の仲間がみんなの前でけん玉を披露。こんなユニークな写真が取れるのも語学研修ならではのプログラム！！これからの世代にのびのびと世界に羽ばたける人材を育てる一環としてFFができることの一つと実感。 池上世子



第3回目この Program は全体で13名、しかも殆どが60代の女性ばかりでした。2週間のホームステイ中はグループに分かれて日本料理をふるまったり、協力してカーラリー（車でオリエンテーリング）の課題をこなしたり、時には与えられたホームワークを見せ合ったりして、日本人同士がすっかり仲良くなりました。しかし、うっかり日本語ばかりでおしゃべりしていると“Speak English”と声が飛んで来ます。

Wanganui では特別な英語学習の内容は無く、通常の交換と変わらないような感じもりましたが、ホストによってはゲームを通じて英語が使えるように工夫を凝らしてくれました。2か所目の Taupo ではまず冊子が配られ、家庭でホストと話し合いをするテーマやニュージーランドの動植物などについての“question & answer”などが書かれた中身の濃いものでした。冊子を作るためにさぞかし時間をかけて準備してくださいましたことでしょう。また、帰国後には早速メンバーが分担して英語での Diary を作成してお世話になったホストに送り喜んでもらえました。 佐々木啓子

第3回



10/24～28

Canada Niagara Club stopover 受入れ



ホスト

ED 佐々木啓子・絃一
 大西弘・博美
 内田勝治・堯子
 藤田欣吾・由紀子
 濱田延子、浦林直子
 合田サワ子・勝径
 山内美也子
 畠中愛子



今回は、月曜日から金曜日の平日ホームステイのホスト。子どももいて仕事もしている私にできるかしらと少々不安でしたが、事前に仕事の振替を調整し、家族全員のスケジュールを一覧表にして準備、ステイ中はFF会員に助けていただいて、無事に楽しく過ごすことができました。元幼稚園の先生だった Sophie さんは、優しくてかしこくて、娘たちにもそのお友達や教室の生徒さん達にも、英語だけでなく生き方そのもの“よく観察し学んで考え、よく聞き話し、周りを助け今日一日を楽しむこと”を教えてくださいました。4日間充実していて忙しくも幸せな日々でした。(浦林記)

10/30～11/1

Western North Carolina Club stopover 受入れ



ホスト

ED 大西弘・博美
 吉岡三枝、西井昭子、木村洋子
 阪井敏江、滋井寛子、湯浅順子
 小泉くに子、渡辺妙子、池上世子

Western North Carolina Club 受入れ報告

2泊3日のショートステイであったが、それなりに充実したいい交流となった。10月29日はボランティア4名で京都観光の案内、30日は月桂冠記念館と伏見稲荷神社、31日は奈良公園と慌ただしい日程ながら、相手クラブは大満足した様子であった。11月1日の出発が、早朝となり、ホストファミリーに大きな負担が掛かったのは反省点である。ただ、このクラブは会員数100名の活発なクラブで、まとまりもよく、ショートステイながら奈良クラブの対応が素晴らしかったのも、是非お返しの受入れをしたいとお誘いを受けている。受入期間に関係なく、受入の仕方次第でいい交流が出来る可能性を示唆する意義ある交流であったと言えるのではないだろうか。(大西記)

10/29

中部ブロック会議

中部ブロック会議が大阪ガーデンパレスで行われました。主催は大阪クラブです。FFI から金元氏、大西氏、大阪クラブ会長の池田氏、FR（フィールドレップ）の藤井氏及び各クラブ会長の挨拶、会員の紹介で始まり、分科会、交換活動、クラブ運営について活発な意見交換がありました。奈良クラブからは12名が参加し、大阪、愛知、岐阜、三重、静岡、福知山クラブのメンバーと会議、懇談会で交流の機会を持ちました。



11/12

第28回FF日本大会



Jeremi Snook 会長、ご長男の Gabriel 君、奈良クラブのメンバーと記念撮影。



埼玉クラブ主催の日本大会はブリランテ武蔵野において午前中代表者会議、午後から全体会議が行われました。FFI 会長 Jeremi Snook 氏の挨拶では大西さんが通訳をされました。懇親会では叡明高校男子コーラスの迫力ある若い歌声に圧倒されながらもエネルギー、情熱をいただきました。翌日は川越めぐり、そして郡山クラブとの国内交流が行われました。



親睦旅行



奈良・人と自然の会との交流会



奈良・人と自然の会の特別企画、芋掘りや落花生の収穫、ソラマメの種まき、虫取り、焼き芋、水生生物の観察、など盛りだくさんの体験をさせていただきました。一生懸命体を動かした後のお弁当T i m eに奈良と自然の会の皆さんが準備してくださった豚汁をごちそうになりました。ここで収穫した新鮮な有機野菜がいっぱい入った具だくさんの豚汁、おいしすぎてもう一杯お代わりをした人も。



グループ活動



ECS(イングリッシュ・チャットサロン)/山足



手作り G/大西博美



ダンス/高尾



ハイキング/藤田



お絵描き教室/池上

その他のグループ、英会話、ゴルフ/大西弘 があります。



カラオケ/畠中

太田群馬クラブのお誘いで12月5日～14日まで新竹クラブと高雄クラブとの交流に参加しました。太田群馬クラブから8名、奈良クラブから7名合計15名の合同渡航でしたが、大変和気藹々の楽しい交流を楽しむことが出来ました。(大西記)



仏像博物館



竹南郡市長訪問と世界最高温度を記録した登り窯を見学。
高級茶碗でお点前のサービス。

高雄駅で大変賑やかで南国的歓迎を受け、いきなり友情がはじけた感じで心地よい交流がスタートしました。



ED 大西弘・博美、濱田延子、中森恭子
小泉くに子、上山よし子、畑邦子

八田與一の銅像とお墓の前で。戦時中に巨大なダムを建設し、台南の地を豊かにした大恩人として、台湾では知らぬ人はなく、いまだにお墓に花が絶える事がない。

台湾の人達に感謝、感謝！！

新竹は台湾におけるIT産業の中心地で新しい都会的文化と古い伝統的文化が適度に混じり合った大変心地よいところでした。新竹クラブは会長のWang Fanさんを中心に大変まとまりのいい友好的なクラブで会員同士の交流も盛んに行われている感じで、極めて活発なクラブと言う印象でした。高雄はやや南国的で日本人には親しみやすい印象の町でした。高雄クラブは会長のKathyさんが極めて熱心なFFの推進者で、受入渡航共に活発に交流されています。現地在住の日本人の会員も二人おられて、日本語を話す会員も多く、親しみ易いクラブでした。

台湾の人達は親日的で優しかった。どこで食べても全ての食べ物が美味しかった。

日本語を話す人も多く、英語を話す事にコンプレックスを感じる事がなかった。

みんな台湾が大好きになりました。また行きたい。日本にも是非来て下さい。台湾の人達に感謝。

FFI理事になって

FFI理事 大西 弘

私は2016年度から凶らずもFFIの理事に就任する事になりました。3月に最初の理事会に出席して、想像以上に重い任務である事に気付かされ、かなり戸惑いながらも、一年が過ぎ、やっと慣れ始めた感じがしています。今FFIが抱えている数々の課題は古くて新しい問題ばかりで、一朝一夕に解決できるとは思いませんが、過去に囚われることなく、しっかりと足を地に着けて、勇気をもって取り組まねばならないと心を引き締めているところです。今や世界の状況は限りなく不透明な時代になり、私達を取り巻く環境も大きく変化してきておりますが、FFの基本理念はいつの時代も変わらぬ価値を持ち続けていると信じています。今後のFFの課題は次の3つに絞られると思っています。

1. 現存クラブが活き活きと活動を続ける為のプログラムの提案
2. まだFFのクラブのない地域に新たなクラブを作る為の提案
3. 将来のFFを担う人達に対する魅力あるプログラムの提案

厳しい環境の中で、これらの難しい課題に挑戦する為にはFFIと世界各国のクラブが常に情報を共有しながら、一つ一つ具体的に実現に結び付ける努力をする事が不可欠です。

FF創立40周年を迎える2017年はFFが将来に向けて新たな第一歩を踏み出す重要な年になるでしょう。



編集後記

今年度はFF奈良の行事に広報としてできるだけ参加しました。会員の皆さん一人一人が“忙しいけど楽しい”澁刺とした姿、笑顔の写真を1枚でも多く撮れるように。中部ブロック会議、日本大会にも出席して他クラブの様子が以前より良くわかりました。編集は一年を振り返るとても貴重な機会でした。(KA)

編集/発行	フレンドシップフォース・オブ・奈良/ 広報グループ
	大西弘、浅田喜美子、道上恵子、吉岡三枝、小泉くに子、浦林直子
ホームページ	URL http://ffnara.jp/ 事務局 〒631-0004 奈良市登美ヶ丘5-2-9